音楽のひとときを共に

被災地訪問を続ける「愛とヒューマンのコ ンサート委員会」が、南米のハープとケーナ による演奏会を開きました。今回は国見上野 台・松川第一・伊達東応急仮設住宅と「いや しの宿いいたて」、さらに学童保育を訪問し 世界の民謡から歌謡曲まで幅広いレパート リーを披露。学童保育の子どもたちは、おしゃ べりも交えた親しみやすいコンサートを、笑 顔で楽しんでいました。



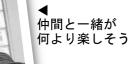
▲30 日、旧明治小応急仮設住宅で

いいたて

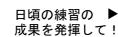
ひと月のできごとを 振り返ってお知らせします

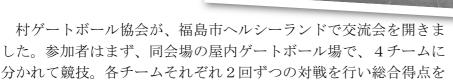


兵庫県から音楽療法士の今野厚子さんらが訪れ、 伊達東・旧飯野小・旧明治小・旧松川小・国見上野 台応急仮設住宅でコンサートを開きました。今野さ んらは、ヴィオリラという楽器で懐かしい流行歌や 唱歌などを次々に演奏。参加者は、歌ったり鳴子を 打ったりして、音楽を共に楽しみました。「ふるさと」 を皆で歌った後には「泣いちゃったよ。やっぱり歌 はいいよね」という声も聞かれました。



競いました。





試合の結果「飯舘Bチーム」が優勝しました。研修室に移動し表 彰式を行い、その後も会食して歓談したり、ラジオ体操の講習を受 けるなどして、参加者は一日元気に交流を深めていました。



▲県外避難者の意見を聞き合う貴重な機会に



▲説明会に続く懇談会では互いの近況を報告

第1回 関東方部 避難者のつどい

関東方部に避難する れました。

っよ義『に避難する20人が参加し、村でどいには、関東ナニー

村都県

難ならではの意見も出されてい次流してほしい」など、遠方避ブレット端末で小さな情報も逐

らは議長

長や

士会館」

京都千

で行田

した。

ブレッ 問が相に 相に

また、

たしかに当時

「東京にも、

いに気心

田にある

東方部避難者

参加者

からは、

除染の状況や

向けた支援等に

0

いて質

村民を対象とした説 明会・懇談会が東京 都内で初めて開催さ

賠償・ 続き、各課長が復興計画・ 意見交換を行いまた賠償・健康管理につい 員や事務局などが出い4議員、その他村 村議会議長の 開会し 、ました。 あ いて

2230 ほけっと

ャスターに私は大変親

しくさせてもらって

ます

大越健介さんでした。

この大越

のメイ

っかけは、

てもらっています。研修会が行われました。いつも私たち職先日、新装した「相馬市民会館」で、 たち職員 職員も参加させ 相馬地方議員

本音の効用

て、今では、「これでは、村民が受けるであろうないでした。 大越キャスターは、村民が受けるであろうながよした。うか分かりますが、それに対し私は「飯舘村民がどう思は十分わかりますが、それに対し私は「飯舘村の名を使うことが、一般の方にわかりやすかったとのの舘村の名を使うことが、一般の方にわかりやすかったといい。とうとう飯舘村より高い放射線値が出ました」と。たしかとうとう飯舘村より高い放射線値が出ました」と。たしか 今では、「ニュースキャスター」という彼の著書の中で、「被害/越キャスターは、村民が受けるであろう感情にすぐ気づいてく ったことによって、 せていただきまのきっかけは ただきま-などと詰め寄ったこともありました。それに対し私は「飯舘村民がどう思って お付き合いさせてもらっているのです。 に対し私は「飯舘村民がどう思ってしま一般の方にわかりやすかったと言うこと した。そのことによってお互放送の中で何度か激しいやり

せ害

い話をしたり、「村長はどっちの立場で話をしているのだ」というのます。この難局は「建前」では進みません。国・県・東京電力とも、で相手とぶつかり合わなければなりません。国・県・東京電力とも、で相手とぶつかり合わなければなりません。国・県・東京電力とも、で相手とぶつかり合わなければなりません。国・県・東京電力とも、てもらいました」と書いていただいています。 ないと、職員ともども頑張っているところう声も聞かれます。何としても、ここはこう声も聞かれます。何としても、ここはこったいることもあると思っているのです。避言葉をいただいたり、皆さんには大変不愉 村民のために少しでも良い方向にもっていかなけれがれます。何としても、ここはこれからも「本音」、課題はまだまだ山積みです。避難生活も限界に近 いたり、皆さんには大変不愉快な思いをさせてしま「村長はどっちの立場で話をしているのだ」といいるものですから。従って、村民の方々にも時に厳 ればなら で立ち

平成 25 年12月号 広報 いしたて